

令和3年度 全国学力・学習状況調査
和光市教育委員会調査結果概要

◆生徒質問紙調査(抜粋、肯定的な項目2項目の合計)

回答率(単位%)

質問事項	和光市	埼玉県	全国
1 朝食を毎日食べている	94.4	93.0	92.8
2 自分には、よいところがあると思う	73.0	76.8	76.2
3 将来の夢や目標を持っている	65.5	70.0	68.6
4 家で、自分で計画を立てて勉強をしている	65.8	65.3	63.5
5 学校に行くのは楽しいと思う	79.0	81.6	81.1
6 人の役に立つ人間になりたいと思う	95.1	94.0	95.0
7 国語の勉強は好きだ	50.2	61.2	60.8
8 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	85.4	88.9	88.7
9 数学の勉強は好きだ	60.1	58.3	59.1
10 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	70.4	73.7	74.6
11 英語の勉強は好きだ	60.1	55.7	56.7
12 1、2年生までに受けた授業の中では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	83.1	84.8	81.0
13 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う。	83.5	89.0	86.2
14 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※2時間以上と答えた児童の割合	45.7	48.5	41.8

2【自分には、よいところがあると思う】、【将来の夢や目標を持っている】という質問について
●肯定的に回答した生徒の割合が全国平均、県平均ともに下回っている。
→小学校同様、家庭と連携を図りながら、自己肯定感を高められるような取組を行い、自分のよさを理解し、将来の夢や目標を実現できるよう、生徒の支援を行っていく必要がある。

4【家で、自分で計画を立てて勉強している】という質問について
○肯定的に回答した生徒の割合が全国平均、県平均ともに上回っている。
●肯定的に回答した生徒の割合が65.8%にとどまっている。
→家庭での生活や学習の習慣化が身についていることで、学力の定着や向上につながっていると考えられる。引き続き家庭との連携を図る取組を充実していく必要がある。

5【学校に行くのは楽しいと思う】という質問について
●肯定的に回答した生徒の割合が小学校同様、全国平均、県平均ともに下回っている。
→生徒同士の人間関係や授業を通して、学校生活が楽しいと思えるような学級経営、授業改善を図っていく必要がある。

7【国語の勉強は好きだ】、8【国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ】、9【数学の勉強は好きだ】、10【数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ】、11【英語の勉強は好きだ】という質問について
○国語については、85.4%の生徒が「役に立つ」と回答している。
○数学、英語については、「好きだ」と答えた生徒の割合が、全国平均、県平均ともに上回っている。
●「国語の勉強が好きだ」と回答した生徒の割合が全国平均、県平均を大きく下回っている。
●国語、数学で「役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国平均、県平均ともに下回っている。
→学習する必要性を理解させ、魅力ある授業づくりを展開していく必要がある。

12【課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う】という質問について
○肯定的に回答した生徒の割合は80%を超えており、県平均を下回っているものの全国平均を上回っている。
→今後も生徒がより主体的に学べるよう課題設定を工夫するなど、引き続き授業改善を図っていく。

13【道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた】という質問について
●肯定的に回答した生徒の割合が、全国平均、県平均ともに下回っている。
→従来の教師主導型の授業スタイルから、「考え、議論する道徳」を意識した授業改善を図っていく必要がある。

14【学校の授業時間以外の勉強時間】について
○2時間以上の児童の割合が、県平均を下回っているものの全国平均を上回っている。
→家庭学習による知識・技能の定着に関する効果が大きいと考えられるので、今後も家庭と連携して、学力の向上を図っていく必要がある。